

九州の魅力をシンガポールへアピール！ ～ 九州観光旅行セミナー・九州教育旅行セミナーより ～

シンガポール事務所

1. 開催概要

日時	開催内容	SIN 側参加者	九州側参加者
7月26日(木) 14:00～17:30	九州観光セミナー・ 商談会	旅行エージェント等 約60名	行政、観光関係者等 13団体(18名)
7月27日(金) 14:00～17:30	九州教育旅行セミナー・ 意見交換会	教育関係者約50名	行政、観光関係者等 9団体(13名)

2. 九州観光セミナー・商談会

① セミナー

九州観光セミナーでは、まず George Lim 氏による九州各地の観光地の紹介のプレゼンテーションが行われました。Lim 氏は、シンガポールで情報誌の制作等に従事され、また Visit Japan 大使として広く日本の魅力を発信されている方で、旅行エージェントが旅行商品の企画をするに際して参考となるポイントをコンパクトに説明されていました。県ごとの情報ではなく、「温泉」「食べ物」「九州オールレ」^(注)など、カテゴリーごとに紹介されていたので、参加されたエージェントにとっては選択肢を比較する情報を得られやすかったと思われます。



セミナーの様子

また、九州の教育旅行向けスポットを紹介するサイト「Kyushu education travel.com」を運営する Ma Welli 氏のプレゼンテーションが行われました。このサイトでは、九州の観光情報と併せて、日本政府の発表している放射能の最新の測定値が閲覧できることが紹介され、日本は安全であるとのメッセージが強調されました。

② 商談会

商談会では、旅行エージェントが、セミナー中で興味を持った地域について各団体のブースで詳細を情報収集という形で行われました。既に九州への旅行を催行している会社が多く、定番となっている福岡・大分・長崎などの観光地



商談会の様子

以外に新たな訪問先を検討している、体験型のメニューを探している、九州オルシに興味がある、などの声が聞かれました。

3. 九州教育旅行セミナー・意見交換会

① セミナー

前日に引き続き、George Lim 氏による九州教育旅行における訪問先の紹介が行われました。教育旅行ということで、工場見学、平和学習、ファムトリップ、果物狩り体験などが中心に紹介されました。

続いて、Adrian Ng 氏等による九州教育旅行による九州教育旅行の事例の紹介が行われ、現地での学校交流や、農家との交流事業の様子が紹介されました。



セミナーの様子

② 意見交換会

セミナー終了後、各団体のテーブルで意見交換会が行われました。商談という形ではなかったものの、参加者の中には次の教育旅行の判断材料等を求めている方もおり、台湾や上海と比べて日本への教育旅行は割高であり予算的に厳しい、日本に行きたいと考えており現在様々な場所の情報を集めている、ファムトリップや工場見学についての情報がほしい、などの積極的な意見がありました。体験学習やファムトリップへのニーズが高いことが感じられました。



意見交換会の様子

4. 所感

シンガポールから日本への旅行先は依然として東京近郊及び北海道が中心で、他の地域については3回目・4回目のリピーターの行先として挙げられるとのこと。ただ、意見交換の中でもシンガポールでは九州の知名度がほとんどないという厳しい現状も触れられました。日本の各地域が持つ多様な魅力を広く発信していくこと、また、併せて放射能への不安を払しょくする適切な情報提供が必要と感じられました。九州観光機構による旅行セミナーや商談会は継続して行われており、今回の商談会でも既に九州行きの旅行を催行している旅行社が多かったようです。商談会や意見交換会で培われたネットワークを活用して、エージェンツ側に必要な情報を的確に発信し、商品化を促進することで、九州全体の観光客の増加につながることを期待できます。

～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・

(注) 九州オルレ：「オルレ」とは、韓国済州島の方言で「家に帰る細い道」を意味しており、現在では済州オルレ協会が提案しているウォーキングコースの名称。九州観光推進機構と済州オルレ協会が協定を結び、「九州オルレ」第一弾として4コースが選定されている。

～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・

(吉本所長補佐 鹿児島県派遣)

